



## Open = つながる。

### LOD チャレンジ Japan “オープン” はデータや人をつなげます

2011年3月に東北地方を襲った大震災直後の混乱の中では、Webが社会的なインフラとして大きな力を発揮しました。ネット上で多くの人々が情報を出し合い、つなぎ合わせることで、価値あるサービスが即座に立ち上がるとともに、そこからネットを介した支援活動の輪が広がり、一種の社会現象となりました。このように、多くの人々がオープンにしたデータ(Open Data)を、皆でつなげて(Linkして)大きな価値を生み出していく運動は「Linking Open Data」と呼ばれ、世界中のあらゆる分野で急速に広がっています。この活動を通して、私たちの創造力と、つながろうとする力が様々なサービスを生みだし、私たちのライフスタイルを大きく進化させていくことでしょう。

「Linked Open Data チャレンジ Japan 2011」では、これまで見られなかった新たなデータづくり、データを共有する仕掛けや、データの活用アイデアなどを「作品」として募集します。作品の分野は問いません。異なる分野のデータをマッシュアップした作品や、様々な分野で Linking Open Data 運動を進めている方々の活動も作品として募集します。また、企業がビジネスとして推進している作品、個人や学生の皆さまからの発想豊かな作品など、幅広い応募を期待します。応募して頂いた作品をコンテスト形式で評価し合うことで、これからの日本の新しい未来を創造していきましょう。

#### 作品募集

本チャレンジは Linked Open Data 技術に興味があるどなたでも応募可能です。以下の3部門で募集しています。詳しい募集要項については公式サイトをご覧ください。



#### 開催日程

応募締切: 2012年1月31日

受賞発表: 2012年3月8日 (セマンティック Web コンファレンス 2012 内)

#### 連絡先 / コミュニティ

メール: [lod-challenge@sfc.keio.ac.jp](mailto:lod-challenge@sfc.keio.ac.jp)

公式サイト: <http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2011/>

Twitter: @LodJapan

Facebook: <http://www.facebook.com/LOD.challenge.Japan>

# Linked Open Data チャレンジ Japan 2011 募集概要

※詳細については必ず、公式サイト「募集要領」をご確認ください。

## 1. 応募作品

Linked Open Data チャレンジ Japan 2011 ではデータセット部門、アイデア部門、アプリケーション部門の3部門における作品の募集を行います。本チャレンジでは、以下のように公開された応募作品がつながり新しい価値を創造すること、つまり応募された作品の再利用を推奨しています。

データセット部門で応募された作品を再利用または活用して新しいデータセットを応募する。

データセット部門で応募されたデータセットを利用するアイデアをアイデア部門へ応募する。

アイデア部門で応募されたアイデアを実現するアプリケーションを開発しアプリケーション部門に応募する。

アプリケーション部門で応募された作品をより魅力的にするためのアイデアやデータセットを応募する。

## 2. 応募期間

2011年10月11日～2012年1月31日

## 3. 応募方法について

公式サイト (<http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2011/>) にある各部門の応募フォームに必要事項を記入し応募して下さい。

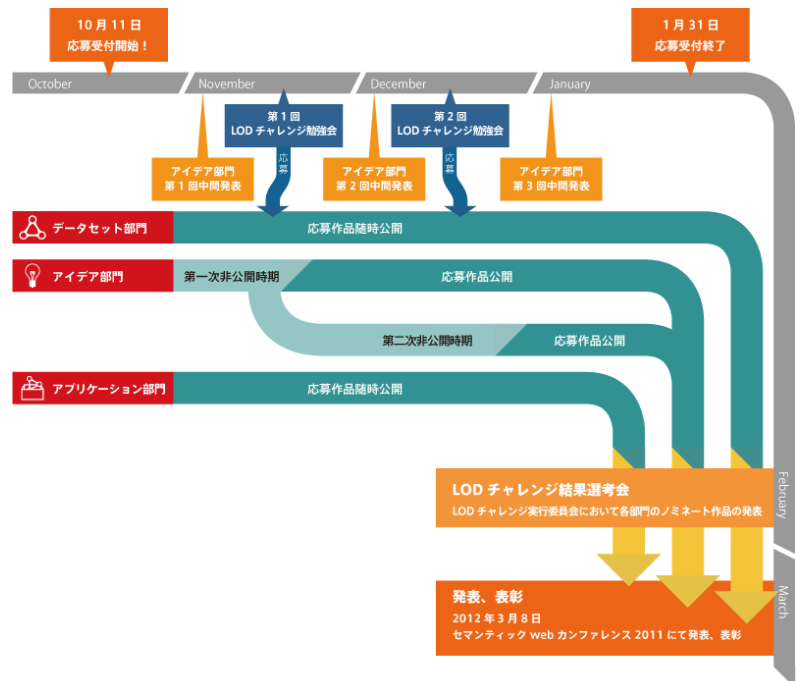
## 4. 審査方法と審査結果発表

「審査方法と表彰」に基づき Linked Open Data チャレンジ実行委員会で行います。

審査結果は2012年3月8日に開催される「セマンティック Web コンファレンス 2012」にて発表します。

## 5. Linked Open Data チャレンジ開催期間中の活動について

本チャレンジに多くの方が応募して頂くことと、本技術の普及を目的として本チャレンジ開催期間中にも講演会・勉強会などのイベント（LOD チャレンジデー）の開催を予定しております。



## 実行委員会メンバー

実行委員長 萩野達也 (慶応義塾大学)

副委員長 長野伸一 ((株)東芝)

事務局長 乙守信行 ((株)MetaMoJi)

### 実行委員(五十音順)

飯塚京士 (日本電信電話(株))

生島高裕 ((株)数理先端技術研究所)

大沼宏行 (沖電気工業(株))

加藤文彦 ((共) 情報・システム研究機

構 新領域融合研究センター/国立情報学研究所)

亀廻井千鶴子 ((株)富士通総研)

桑照宣 ((株)富士通研究所)

古崎晃司 (大阪大学)

小林巖生 ((有)スコレックス)

齊藤孝広 ((株)富士通研究所)

斎藤博昭 (慶応義塾大学)

佐藤宏之 (NTT レゾナント(株))

澤村正樹 (NTT レゾナント(株))

渋谷健 ((株)ゼンリン)

鈴木孝幸 (神奈川工科大学)

其田譲治 ((株)博報堂プロダクツ)

高梨益樹 (富士通(株))

田崎裕二 (富士通(株))

年岡晃一 (中部大学)

豊田哲郎 ((独)理化学研究所)

中野圭 ((株)数理先端技術研究所)

細見格 (日本電気(株))

本多裕美

光石豊 ((株)富士通研究所)

森田大翼 (日本電信電話(株))

湯本正典 (東京大学)

和田康宏